

年頭所信 新しい年度がはじまりました 「強みを生かせる近未来を語り合おう」

人生 100 年時代をどう生きるかが目の前の課題になってくる中、仕事を全うして定年を迎えた同窓生も多くなりました。やっとこれから趣味を生かそうと思いきや、今度は両親の介護をしなければならないとか、ご自身の健康問題を抱える人も増えてきました。いつになったら自由になって好きなことをし、同窓会の活動にも参加できるのかと悩む方もおいでかと思えます。

私は縁があって、1 年前からカンツォーネを歌いはじめました。戸山英二プロについてレッスンを受け、毎月仲間と六本木の小さなライブ会場で歌っているのですが、仲間の中で私が一番の若く、平均年齢 80 歳という熟女に囲まれています。最高年齢は 89 歳の麗華さんで、熱海の老人ホームに入居して毎週東京まで稽古に通ってきています。右耳が聞こえず、足も杖を使う状態ですが、歌う姿勢は見事で、少女のような美しいソプラノで歌います。本人の話だと喘息に悩んで困っていたころ(70 歳前後)、カンツォーネに出会い、夢中になり、お陰で喘息も発症しないという。これは歌のお蔭だと言っております。80 歳代の女性が全て元気澆刺とは言えませんが、何か好きな趣味を持って打ち込んでいく、そしてそれを人前で発表するという緊張感が元気の秘訣といえるのではないのでしょうか。

他方「お蔭さまで私は元気です」だけではなく、人のために汗水を流したり、次世代に残せるものがあれば人生の意義が更にたかまるのではと思いませんか？。

「スーパーボランティア」の尾畠春夫さん(79 歳)とか、これからの余生は少年野球の普及活動に捧げたいという王貞治さん(78 歳)のように……。彼らの真似はできないまでも、同窓会を通じて大学や後輩への支援ができるとしたら、それも社会貢献です。

大学と同窓会に関連する話ですが、18 歳人口が半減に向かう時代、21 年から国立大学の統合や連携が本格化するとのニュースに接しました。昨年 12 月に名古屋大学と岐阜大学の法人統合が合意に至った他、東京の国立 4 大学(一橋・東京工大・医科歯科大・東京外語)が「第二東大」をめざして連合を結成したらしい。東海や四国、九州地方の大学統合、北海道連合なども検討が進んでいると。かつての銀行のように大再編が進むでしょう。

信州大学だけ例外はありえないでしょうから、学部を取捨選択など、スリム化を覚悟した上で、母校の為に同窓会組織を固め、OB たちも「強みを生かせる近未来」を語り合いたいものと感じています。最後に二度とない人生悔いのないように生きようではありませんか。

会長 羽田克己 (S42 年文理学部卒)

＜本部便り＞ I. 信濃鼓動 ” 役員会便り⑨”

昨年の第3回総会后、久しぶりの第9回役員会が東京（羽田邸）で開催されました。今回のメイン議題は2件で、“60周年記念祭”と“財務案件”です。殊に財務は甲信越の細野さんが新任で初参加されました。財務は重要で大変な役職ですが、今後宜しくお願いします。以下が今回の結果です。



第9回本部役員会（白金台）

議題【1】60周年記念祭

〈現役性との”コラボ”について〉

＊昨年7月、本件で現役生から回答あり--同窓会の回答出す。

- ・現役の定演とは別日程で行う。
- ・開催時期は6月末から7月とし、現役4年生の就活時期を外す。
- ・基本は現役と同窓生との合同演奏は実施するが、選曲とレベルは相互に充分検討する。
- ・会場の選定は、合同演奏時に総演奏者数及び観客数を考慮し決める。必要費用は同窓会が負担する。

以上、概要を5月末迄に現役生との打ち合わせで回答する。

＊22年開催年迄の主要工程項目の進捗表フォロー

- ・工程表（演奏部）のうち最重要事項の”指揮者” & ”パート・リーダー”の選出につき、演奏方責任者の金井さんが5月末まで纏める。
- ・他の全体構成表は、東日本の斉藤さんが次回役員会迄に纏める。

議題【2】【3】財務案件

＊財務引継事項（2018年12月 三ツ山さんから細野さん引継）

- ・主要項目引継完了
- ・寄付金口座（第3回総会で承認済）--実行に際し会費口座とは別口座を細野さん調査結果を参照・検討し早急に結論出す。

以上が当日の役員会の概要ですが、共に主要案件故担当者が責任をもって推進する事とした。
副会長 斉藤学（S45年工学部卒）

＜本部便り＞ II. 実行委員会演奏部門からのお知らせ

春の足音が近付いて来ましたが、皆様いかがお過ごしですか？。そろそろ冬眠から目覚めて楽器を手にしてみませんか。

2022年に開催予定の創立60周年記念演奏会につきましては、昨年の第3回定期総会で曲目も決まり、楽譜や練習用音源の準備も出来ましたが、一部変更になりましたので、改めてお知らせ致します。但し、今後現役との協議の中で、ステージ構成の変更や曲目の変更の可能性もありますので、ご承知置き下さい。

[演奏曲目]

• 比較的簡単な曲のステージ

1. 信州大学学生歌 羽毛田憲一作曲
2. 浜辺の唄 中野二郎作曲
3. 「荒城の月」を主題とする二つのマンドリンのための変奏曲 服部正作曲
4. 宵待草 多忠亮作曲、服部正編曲
5. 雨とコスモス 武井守茂作曲
6. 山峡 川崎貞利作曲

• 若干難しい曲のステージ

7. 序曲「帰郷(ハイムライゼ)」 K.Wölki 作曲
8. 雪(ロマンツァとポレロ) G.Lavitrano 作曲
9. 交響的前奏曲 UGO BOTTACCHIARI 作曲

• アンコール曲

10. パッヘルベルのカノン J. Pachelbel 作曲、酒井国作編曲
(宮田俊一郎編曲の「涙のカノン」から変更になりました)

上記の1～9までの楽譜は既にホームページにアップしてありますので、必要なパートをダウンロードして下さい。もし、楽譜をダウンロードできない方には印刷してお送りすることやメールによるPDFの送信も可能ですので、金井までお知らせ下さい。

尚、ホームページにはPDFの楽譜の他に個人練習に便利なスコアメーカー及びプレイヤー用データ(SDXファイル)もアップされています。

また今後、練習用音源(MP3)やSDXファイルについての解説書及びそれらを用いた個人練習方法についての経験談等を4月中旬までにはアップする予定ですのでご利用下さい。更に、練習用のCDも用意してありますので、必要な方は各支部の実行委員または金井までご連絡下さい。また、当面の間は支部毎に練習を行いますので、各支部の練習予定は各支部の実行委員にご確認下さい。

それでは、多くの方が創立60周年記念演奏会に参加されます様、お願い致します。参加申し込みは随時行っておりますので、下記までご連絡下さい。

[実行委員会演奏部門]

東日本支部：福永正敏([spm^smasafuku@k5.dion.ne.jp](mailto:spmasafuku@k5.dion.ne.jp))

高野洋之(h-kouno@m02.itscom.net)

西日本支部：大原秀樹(ooharahideki.h@hb.tp1.jp)

力石恒雄(chikara3363@yahoo.co.jp)

甲信越支部：金井正広(kanaifam@janis.or.jp)

市ノ瀬茂(s-ichinose4.11@wave.plala.or.jp)

実行委員会演奏部門 金井正広 (S50年工学部卒)

＜本部便り＞ Ⅲ. 現役生への応援記

第56回定期演奏会開かれる ♪♪♪

私たちの奏でる音楽がみなさんの心に届くように



第56回定期総会「長野市「若里市民文化ホール」

昨年11月3日(土・祝) 長野市「若里市民文化ホール」、17日(土)松本市「キッセイ文化ホール」にて、第56回定期演奏会が開催されました。私は、3日の演奏会に聴きに行きました。会場は満席とまではゆきませんが、まあまあの入りでした。演奏された曲は、「セイリング・ディ出航、茜、舞踊風組曲第2番、

under the Sea、糸、めくる季節などなど12曲、初めて聴く曲ばかりでしたがリズムに乗り、素晴らしい演奏でした。

演奏者の構成を見ますと、1st5名、2nd5名、マンドラ6名、セロ6名、ギター9名、コントラバス4名、全体で35名でした。舞台の編成は観客席から見て、左側にマンドリン、中央にギター、右側にマンドラ・セロ、後ろにコントラバスでした。マンドラ、セロ、コントラバスの演奏者が全体の構成から見て多く、低音の魅力を引き出すようで、私たちの時代とかなり違っていると思いました。クラブ員3名が編曲者になっており、クラブの層の厚さも感じられました。

演奏会当日配られたパンフから日頃の練習も紹介され、「3～8月は隔週末、9月からは毎週末に松本に集い合同練習、3月の高遠で5泊6日の春合宿、8月は志賀高原にて7泊8日の夏合宿」などと記載されていました。

～信大ギタマンの歴史を未来へ繋げていこう～

本部長の佐々木奏子さんのあいさつのなかで、昨年6月16日に同窓会総会・演奏会に現役も参加したことにも触れ、「普段は卒業生の方々と現役生が交流することが少ないため、とても貴重な機会となりました。信州大学マンドリンクラブは、2022年に迎える60周年へと動き始めています。これからは、卒業生の方々と現役生の関りをより一層深めると共に、半世紀以上という長きにわたって数々の卒業生が繋いできた信大ギタマンの歴史を未来へ繋げていこうと改めておもうところでもあります(56回定期演奏会パンフより)」。大変印象深く読みました。



夏合宿の練習 志賀高原にて

総務委員長 鶴見鍵二 (S44年農学部卒)

<支部便り> I. 甲信越支部

甲信越支部より新年のご挨拶を申し上げます

明けまして おめでとうございます

昨年、甲信越支部はメインの練習会場を新築された上田市西部公民館に移して、ほぼ毎月1回、第2土曜日を練習日として活動をしてきました。

当支部は、やはり昨年も3月の「うつくしの湯音楽祭」への出前コンサートから始まり、6月の「第3回SUMC 同窓会本部総会」、9月に上田図書館倶楽部という NPO 主催の「上田情報ライブラリーコンサート」、そして11月には上田市内の自治会主催による「長瀬中央ふれあい健康まつりコンサート」等での演奏活動を実施しました。



上田情報ライブラリーコンサート



長瀬中央ふれあい健康まつりコンサート

また、12月には千曲市の温泉宿で甲信越としては初めての宿泊を伴う忘年会を超格安で実施し懇親を深めることができました。

本年も3月3日に「うつくしの湯音楽祭」に出演依頼がきています。甲信越支部としては新しく演奏する曲もあり、月に1回の練習会以外にも有志で追加の臨時練習会を行うなどして、熱心に練習に取り組んでいるところです。

また6月には、甲信越支部の定期総会が実施される年でもあります。甲信越支部の大勢の方の出席をお願いしつつ、本年も宜しく願い申し上げます。



忘年会(千曲市温泉宿) (1)



忘年会(千曲市温泉宿)(2)

甲信越支部長 日野博明
(S47年繊維学部卒)

＜支部便り＞ II. 東日本支部

東日本支部より 新年おめでとうございます

1. 新年会を開催しました

東日本では2月23日(土)、港区白金台の羽田会長邸をお借りして新年会を開催し、ギター合奏と本部役員会を併催しました。演奏では今回、元々人数の少ないマンドリン系奏者の都合がつかず、マンドリン合奏は断念してギター合奏としました。

東日本支部はギター奏者が厚く、さらに二刀流の中村美和さんにも加わって頂き、6名で“シューベルトのセレナーデ”など6曲を演奏。(同窓会でのギター合奏は機会が少ないので、東日本支部ならではの特長かもしれません)



東日本支部有志のギター合奏(白金台)

正午、関東エリアの遠方各地から集まり、練習・演奏・その後は本部支部関係の連絡・意見交換会(60周年への対応が主)を持ちました(60周年関連では開催時期、練習場所、現役との共演に関し質疑・意見交換)。

一方、練習の間に本部役員会が開催され、60周年や新役員への業務引継ぎ状況確認など盛り沢山の討議がされたようで長時間になり、全体の予定は大混乱。それでも何とか時刻からは会場を品川駅前の馴染みの料亭?に移し、他支部役員の方々も参加して懇親会を開催。13名と予定より少なかったが、その分テーブルを囲んでの膝を交えた会話が出来て盛り上がり、あっという間の集いとなりました。

ところで、メンバー所属各楽団の定期演奏会が年初早々から2月2日、3日と連日ありました。他メンバーも7月以降それぞれの活動があるので、互いに足を運びたいと思います。〈本年も共に健康で活動しましょう〉



懇親会（東京品川駅前）

2. 支部会員の活動寸描

(1) 緑ギタークラブ定期演奏会



1st ギターパート（左が高野さん）

2月2日（土）に川崎市北西部のJR 武蔵溝ノ口駅近くの“糀ホール”で、高野さん（S61 卒）がコンマスの演奏会が開催されました（今回は創立30周年記念定期演奏会との事で意気込みが違った）。

常連ファンが多数訪れ、我々に馴染みの“ロマンス”がオープニングで、演奏にはフルート、打楽器、マンドリン（高野さん）も加わり華やかな会でした。

(2) アンサンブルマーレ定期演奏会

2月3日（日）横浜港の“みなとみらいエリア”神奈川県民ホールで、松下さん（S46 卒）出演の演奏会が開催されました。都合悪くなり行けませんでした。が、昨年の鎌倉ステージ同様に常連ファンが多数集まったと思います。ヴェルキの“帰郷”や”マンドリンの集い”など、身近な曲が含まれていました。写真撮影禁止の為、パンフレットから写真を抜粋しました。



ギター前列右が松下さん

(3) イルマーレ定期演奏会

(S62 年卒の中村夫妻が主宰)

【お知らせ】

本年 7 月 15 日“海の日”に米国 [ミルウォーキー マンドリンオーケストラ*] を迎え、千葉市民会館でジョイントコンサート開催予定とのことです。

*ミルウォーキー (米国シカゴ北 150Km 位、ミシガン湖西岸の大都市)

中村夫妻と水上、高野さんの支部メンバー 4 名が参加します。

イルマーレは昨年 10 周年の定演を催しましたが、今年の企画もさすがです。

⇒詳細は後日「同窓会ホームページ」の演奏会のお知らせをご覧ください

東日本支部幹事長 三戸 純 (S47 年繊維学部卒)



第 10 回定期演奏会 (2018/7/16 海の日)

<支部便り> Ⅲ. 西日本支部



西日本支部の練習風景

平成が終わり、新しい時代が始まろうとしています。2022 年の信州大学マンドリンクラブ創部 60 周年記念事業の準備も本格的に動き始め、記念演奏会候補曲の楽譜や音源もホームページにアップされました。

西日本支部では、今年から練習場所を米原市公民館に移して、毎月第 1 土曜日 13:00 からマンドリン合奏を楽しんでいます。西日本支部の演奏活動は 50 周年を機にスタートし、

今年で 6 年目になります。現在練習に参加しているのは 12~13 人ですが、ほとんどが卒業以来、何十年振りに楽器に触った者ばかりです。1 年に 1 回以上の慰問演奏を目標に頑張っています。今年は昨年好評だった滋賀県豊郷町の豊郷病院の七夕コンサートに参加します。

西日本地区にお住まいの同窓生の皆さん、押入れの奥に眠っているマンドリンあるいはギターを引っ張り出して、60 周年記念演奏会に参加しましょう。一度米原市公民館に見学に来てください。また不定期ではありますが、刈谷市総合文化センターでも、愛知県在住のメンバーを中心にした練習を行っています。

連絡先 伊藤雄二 (携帯TEL:080-3282-2873)

西日本支部長 伊東義敏 (S45 年工学部卒)